

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 26 年 6 月 19 日 (2014.6.19)

【公表番号】特表 2013-539383 (P2013-539383A)
 【公表日】平成 25 年 10 月 24 日 (2013.10.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-058
 【出願番号】特願 2013-525194 (P2013-525194)
 【国際特許分類】

A 4 7 J 31/44 (2006.01)

A 4 7 J 31/34 (2006.01)

B 6 7 D 1/08 (2006.01)

A 4 7 J 31/40 (2006.01)

【F I】

A 4 7 J 31/44 Z

A 4 7 J 31/34

B 6 7 D 1/08 Z

A 4 7 J 31/40

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 26 年 5 月 1 日 (2014.5.1)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 5】

お湯を淹出用チャンバに供給することから成る給水モードは、設定基準に関連して測定されたパラメータにおいて異常な変動が何も検出されず、アセンブリが閉位置（カプセル閉鎖モード或いは空の閉鎖モード）にあるとき、始められてもよい。お湯の供給は、源（例えば、水タンク）からの水の（例えばポンプを使用することによる）流通を含み、更に / 又は、淹出用チャンバに対する水の加熱（連続した又は一回の加熱）を含んでもよい。お湯の供給は、供給されたお湯の流量及び加熱特性を調整する為に、例えば、一つ以上の温度センサ、圧力センサ及び / 又は流量メータを介して、制御されてもよい。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 6】

任意に、制御手段は、ユーザーインターフェースを備え、選択的に、給水モードを始める。このため、水は、自動的に或いはユーザーインターフェースを介してユーザーの要請に応じて、淹出用チャンバに流通されてもよい。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 7】

本発明に従う例示的なモータ付き飲料機 1 が、図 1 に図示されている。この機械は、淹

出ユニット 2 を備え、淹出ユニット 2 は、電気モータ 3 に接続され、電気モータ 3 は、淹出ユニット 2 を開位置から閉位置まで、更に / 又は、閉位置から開位置まで移動させる為に伝達手段 4 を駆動する。給水手段 5 も同様に、機械 1 の一部として設けられている。このような手段 5 は、水リザーバ 6、水ポンプ 7、水ヒータ 8 を含んでもよい。水は、水流通路 9 内を流通し、水流通路 9 は、淹出ユニット 2 に結合されている。通常、流通路 9 は、淹出ユニット 2 と流体接続されている。制御手段 10 も同様に、機械 1 に設けられている。制御手段 10 は、制御ユニット 11、センサ（図示せず）、ユーザーインターフェース 12 を含む。制御ユニット 10 は、プロセッサ、メモリ、プログラムを含み、適した入力を当該機械の異なる作動手段、特に、ポンプ、ヒータ、モータに与え、これらから出力を受けることができる。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0069

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0069】

- 1 飲料機
- 2 淹出ユニット
- 3 電気モータ
- 4 伝達手段（伝達装置）
- 5 給水手段
- 6 水リザーバ（水ポンプ）
- 7 ポンプ
- 8 水ヒータ
- 9 水流通路
- 10 制御手段（制御ユニット）
- 11 制御手段（制御ユニット）
- 12 ユーザーインターフェース
- 13 注入用アセンブリ
- 14 配送用アセンブリ（可動アセンブリ）
- 15 注入ブレード
- 16 カプセル配送プレート
- 17 外部ケーシング
- 18 フレーム
- 19 飲料出口
- 20 ギヤアセンブリ
- 21 ウォーム駆動部
- 22 カム
- 22 溝
- 23 従動子
- 24 ギヤ
- 25 軸
- 26 , 27 側方ギヤ
- 28 ギヤセグメント
- 29 淹出用チャンバ
- 30 カプセル
- 31 通路
- 40 基準曲線（電流消費曲線）
- 41 曲線